

ユーザーズガイド

⑤(設定)のLiveArea™で⑥(ユーザーズガイド)を選びます。各機能の使いかたや設定方法を説明しています。ユーザーズガイドを見るにはインターネット接続が必要です。ユーザーズガイドはパソコンなどで見ることもできます。  
<http://manuals.playstation.net/document/>



アップデートサイト

システムソフトウェアのアップデート(更新)方法や最新の情報をご覧いただけます。PlayStation®Vita TVは、システムソフトウェアをアップデートすることにより、機能の追加やセキュリティの強化ができます。常に最新版にアップデートしてご利用ください。  
<http://www.jp.playstation.com/psvita/update/>



サポートサイト

修理に関するご案内や、よくあるお問い合わせなどをご覧いただけます。

**お問い合わせ**

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント インフォメーションセンター  
<http://www.jp.playstation.com/support/> (よくあるお問い合わせ、修理の受付など)  
 TEL 0570-000-229 (PHS 一部のIP電話 03-6733-0800) 受付時間 10:00~18:00  
 お問い合わせの際はお客様からご提供いただいた個人情報のお取り扱いにつきましては、上記URLをご覧ください。インフォメーションセンターにお問い合わせください。



4-474-396-01(2)

© 2013 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Printed in China

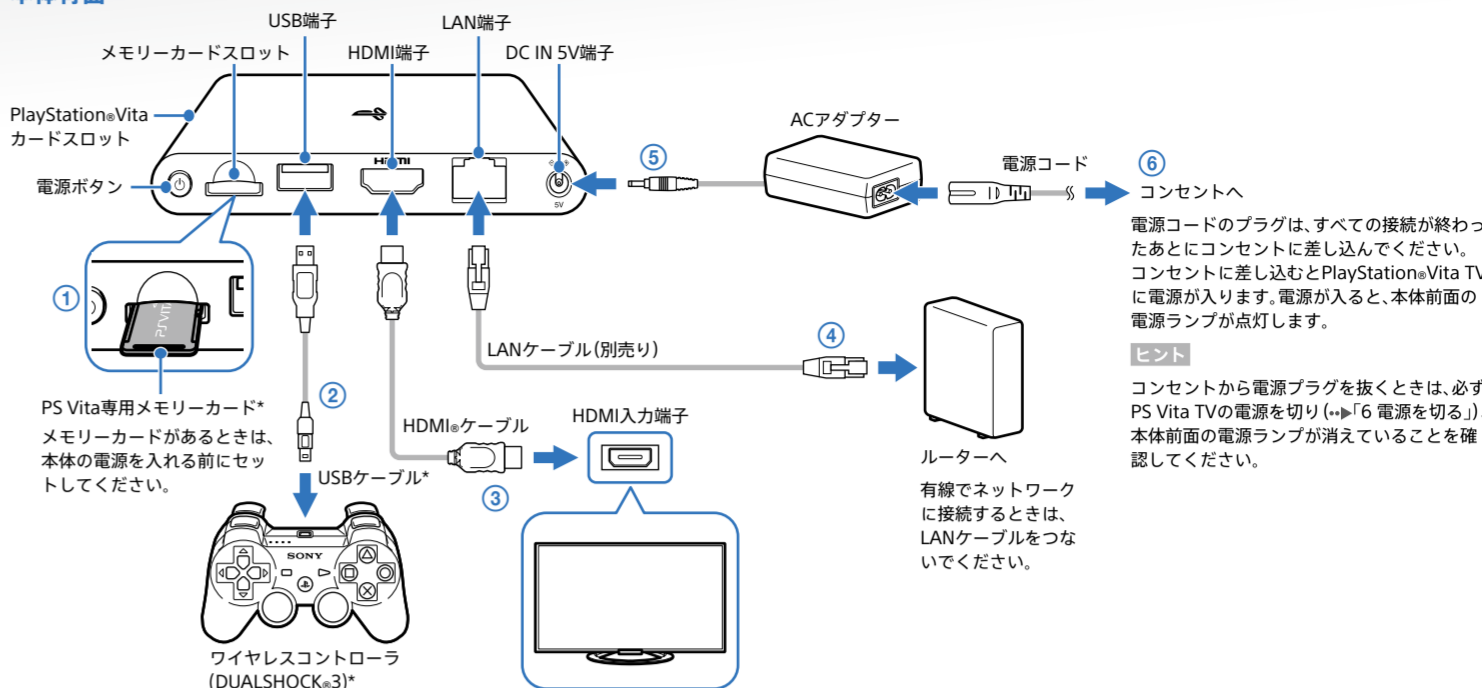
1 接続する

本機で遊ぶには、ワイヤレスコントローラ(DUALSHOCK®3) (CECHZC2)とUSBケーブル(CECH-ZUC1またはUSB規格に準拠したケーブル)が必要です。VTE-1000 ABには、コントローラとUSBケーブルが付属されていません。

1 テレビの電源を入れて、入力を切り替える。

2 接続する。

本体背面



電源コードのプラグは、すべての接続が終わったあとにコンセントに差し込んでください。コンセントに差し込むとPlayStation®Vita TVに電源が入ります。電源が入ると、本体前面の電源ランプが点灯します。

**ヒント**  
コンセントから電源プラグを抜くときは、必ずPS Vita TVの電源を切り(→「6 電源を切る」)、本体前面の電源ランプが消えていることを確認してください。

\* VTE-1000 ABには付属されていません。

2 準備する

PS Vita TVに電源が入ると、電源ランプが点灯し、テレビ画面にPS Vita TVの画面が表示されます。



1 コントローラーの④(P.S) ボタンを押す。

コントローラーが本体に登録(ペアリング)されます。登録されるとワイヤレスで使えます。

2 画面の指示に従って初期設定をする。

言語、タイムゾーン、日付、時刻の順番で設定します。Sony Entertainment Networkのアカウント登録や、ネットワークの設定も初期設定で行います。初期設定が終わるとホーム画面が表示されます。

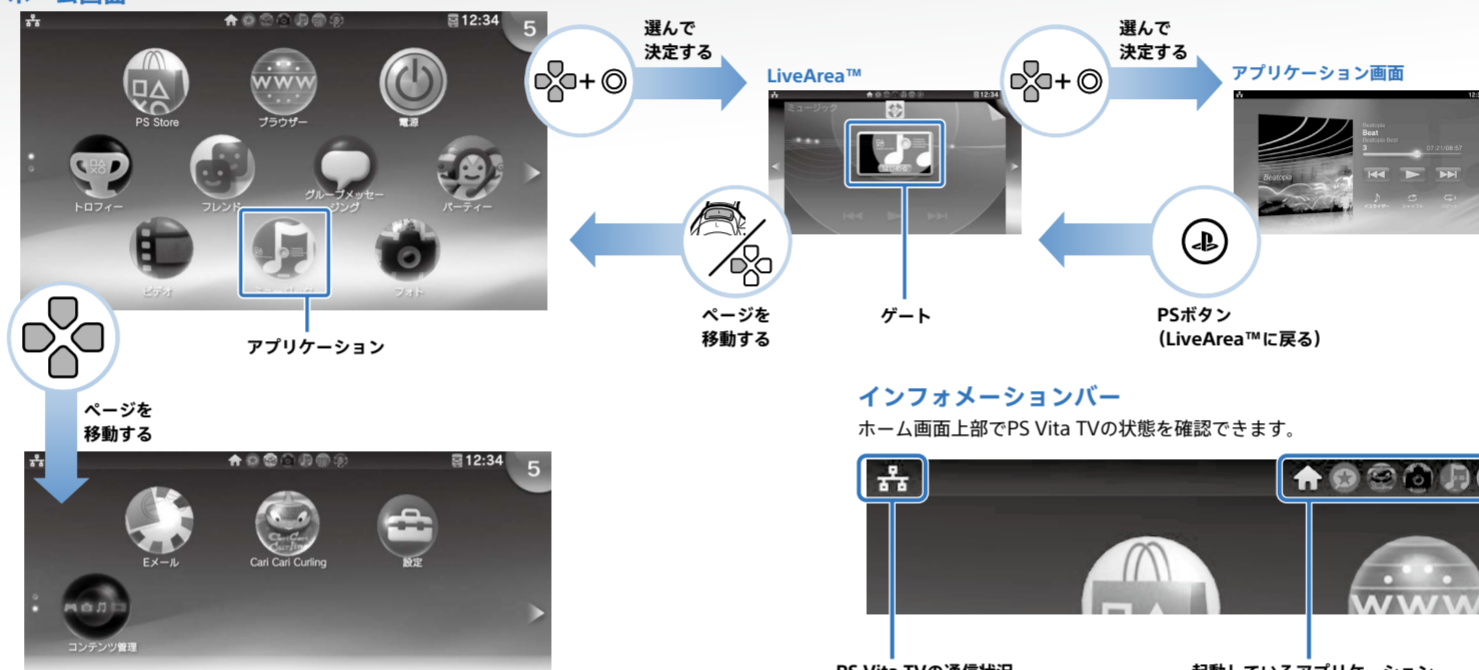
ヒント

Sony Entertainment Networkのアカウントは、初期設定が完了したあと、ホーム画面の⑤(設定)⇒[PlayStation®Network]⇒[サインアップ]から作成できます。また、PlayStation®3やパソコンを使って作成することもできます。作成したアカウントをPS Vita TVに登録してください。

3 ホーム画面と基本操作

ホーム画面でアプリケーションを選ぶと、LiveArea™が表示されます。ゲートを選ぶとアプリケーションが始まります。同時に複数のアプリケーションを起動できます。ホーム画面は最大10ページまで追加できます。

ホーム画面



ヒント

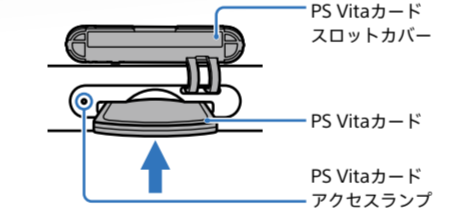
方向キーの代わりに左スティックを使っても選んだり、移動したりできます。  
 • LiveArea™は、ⓧボタンを押したままにすると閉じることができます。LiveArea™を閉じると、アプリケーションが終了します。

4 ゲームで遊ぶ

ホーム画面に表示されたゲームのアイコンを選ぶとゲームが始まります。PS Vita TVの対応ソフトウェアについては、<http://pscom.jp/psvitatv/game/> またはインフォメーションセンターで確認してください。

1 PlayStation®Vitaカードをセットする。

PlayStation®Vita規格ソフトウェアが収録されているカードです。PS Vitaカードスロットカバーを上方向に開け、PS Vitaカードを挿入します。セットするとホーム画面にゲームのアイコンが表示されます。



2 ゲームを起動する。

ゲームのアイコンを選ぶと、ゲームのLiveArea™が表示されます。インターネットに接続していると、LiveArea™にゲームの最新情報などさまざまな情報が表示されます。



3 ゲームを始める。

LiveArea™の[はじめる]を選ぶと、ゲームが始まります。



4 ゲームを中断、または終了する。

コントローラーの④(P.S)ボタンを押すと、ゲームを中断してLiveArea™に戻ります。ⓧボタンを押したままにしてLiveArea™を閉じると、ゲームが終了します。

メモリーカードを使う

PS Vita TVは内蔵メモリーカードを搭載しており、メモリーカードを必要とするゲームやアプリケーションですぐに遊ぶことができます。内蔵メモリーカードの容量がいっぱいになったときは、別売りのメモリーカードをお使いください。内蔵メモリーカードのデータは、次の手順でメモリーカードに移動できます。

1 PS Vita TVの電源を切った状態で、メモリーカードをセットする。

電源が入っているときに抜き差しすると、データが破損することがあります。

2 PS Vita TVの電源を入れ、画面の指示に従ってデータを移動する。

移動が完了すると、自動的に再起動します。

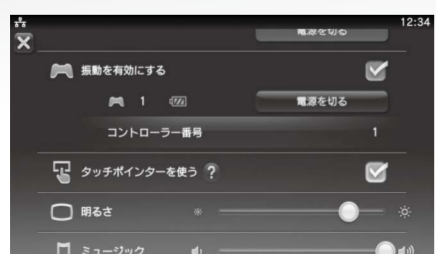
ご注意

- メモリーカードをセットすると、内蔵メモリーカードのデータは、メモリーカードへ移動されたあと、すべて削除されます。データの保存場所は、内蔵メモリーカードからメモリーカードに変わります。
- 内蔵メモリーカードは、メモリーカードをセットしていると使えません。

5 タッチポインターを使う

タッチポインターは、PS Vitaのタッチ操作をコントローラーで操作する機能です。

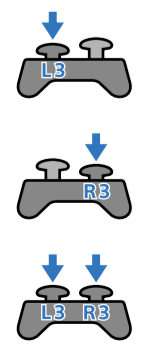
タッチポインターを使うには、④(P.S)ボタンを押したままにして表示される画面で、[タッチポインターを使う]にチェックを入れてください。対応しているゲームの操作に使えます。



L3ボタンを押すと、画面にスクリーン用のタッチポインターが表示されます。

R3ボタンを押すと、画面に背面タッチパッド用のタッチポインターが表示されます。

L3/R3ボタンを同時に押すと、スクリーン用、背面タッチパッド用の両方のタッチポインターが重なって表示されます。



タッチポインターを動かす

タッチポインターの表示中に、左スティックでポインターを動かします。L2ボタン、またはⓧボタンで決定します。

2つのタッチポインターを使う

タッチポインターは、同時に2つ使えます。タッチポインターを表示中に右スティックを動かすと、2つ目のタッチポインターが赤で表示されます。2つ目のタッチポインターは、右スティックで動かし、R2ボタンで決定します。

ヒント

- 2つ目のタッチポインターの種類は選べません。1つ目と同じ種類のポインターが表示されます。
- タッチポインターの使いかたは、画面でも確認できます。④(P.S)ボタンを押したままにして表示される画面で、[タッチポインターを使う]の⑤を選んでください。次の画面が表示されます。



• タッチポインターは、ホーム画面やLiveArea™では使えません。

6 電源を切る

PS Vita TVは次の方法で電源を切ることができます。通常は、アプリケーションを起動したまま終了するスタンバイモードを利用すると便利です。

1 ホーム画面の⑤(電源)を選ぶ、またはコントローラーの④(P.S)ボタンを押したままにする。

スタンバイモードになり、本体前面の電源ランプが消えます。

ヒント

- PS Vita TV本体の⑤(電源)ボタンを押して表示された画面からもスタンバイモードにすることができます。
- ゲームを中断したいときは、スタンバイモードを選んでください。スムーズにゲームを再開できて便利です。

電源を完全に切る

メモリーカードをセットしたり抜いたりするときや、コンセントから電源プラグを抜くときは、電源を完全に切ってください。

1 ホーム画面の⑤(電源)を選ぶ、またはコントローラーの④(P.S)ボタンを押したままにする。

2 表示された画面で[電源を切る]を選ぶ。

電源が切れ、本体前面の電源ランプが消えます。

ヒント

- PS Vita TV本体の⑤(電源)ボタンを押して表示された画面から電源を切ることもできます。
- 電源を完全に切ると、コントローラーの④(P.S)ボタンを押しても電源が入りません。

電源を入れる

スタンバイモードから

1 PS Vita TV本体に登録されているコントローラーの④(P.S)ボタンを押す、またはPS Vita TV本体の⑤(電源)ボタンを押す。

本体前面の電源ランプが点灯し、スタンバイモードになる前の画面が表示されます。

電源が切れた状態から

1 PS Vita TV本体の⑤(電源)ボタンを押す。

本体前面の電源ランプが点灯し、ホーム画面が表示されます。

2 コントローラーの④(P.S)ボタンを押す。

コントローラーがPS Vita TV本体に登録されます。電源が切れた状態から電源を入れるたびに、④(P.S)ボタンを押して登録してください。



**警告**
**電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故を起こすことがあります。**

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**PlayStation®Vita TVで遊ぶ前に**  
必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS Vita TVを安全に使ってください。

**電源障害防止機能について**  
この装置は、クラドE8情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

**機器認定について**  
本機は、電波法に基づく無線設備として、認証を受けています。また本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。  
認証機器名：VTE-1000  
ただし、以下の事項を行うと法的に罰せられることがあります。  

- 本機を分解・改造すること
- 本体背面にある証明番号を消すこと

**Wi-FiおよびBluetooth®機能の周波数について**  
本機のWi-FiやBluetooth®で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同時に電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用しています。場合によってはお互いの電波が影響し合い通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。本機でもWi-FiやBluetoothを同時に使用するとその影響を受けることがあります。また、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記に注意して使用してください。

**本機の使用上の注意**  
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線機、工場製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

<b>2.4 GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は20 mです。
<b>2.45GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS 変調方式およびOFDM変調方式を採用し、干渉距離は40 mです。

**警告**
**安全のために**

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る  
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

**定期的な点検する**

- 1年に1度は次のことを点検してください。
  - ACアダプター、電源コード、ケーブル類に傷みはないか？
  - 電源コードのプラグとコンセントの間にはほこりがたまっていないか？

**故障したら使わない**

動作がおかしいときや壊れたとき、ACアダプター、電源コード、ケーブル類が傷ついたときは、インフォメーションセンターに相談してください。

**異常が起きたら**

変な音やにおいがある/さわれないほど熱い/煙が出ている

- 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
- PS Vita TVに接続しているACアダプター、ケーブル類や機器を取り外す。
- インフォメーションセンターに連絡する。

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでもってください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電/破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。	
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	

<b>図記号の説明</b>		
行為を禁止する図記号		行為を指示する図記号

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**PlayStation®Vita TVで遊ぶ前に**  
必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS Vita TVを安全に使ってください。

**電源障害防止機能について**  
この装置は、クラドE8情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

**Wi-FiおよびBluetooth®機能の周波数について**  
本機のWi-FiやBluetooth®で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同時に電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用しています。場合によってはお互いの電波が影響し合い通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。本機でもWi-FiやBluetoothを同時に使用するとその影響を受けることがあります。また、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記に注意して使用してください。

**本機の使用上の注意**  
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線機、工場製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

<b>2.4 GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は20 mです。
<b>2.45GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS 変調方式およびOFDM変調方式を採用し、干渉距離は40 mです。

**警告**
**安全のために**

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る  
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

**定期的な点検する**

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**PlayStation®Vita TVで遊ぶ前に**  
必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS Vita TVを安全に使ってください。

**電源障害防止機能について**  
この装置は、クラドE8情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

**Wi-FiおよびBluetooth®機能の周波数について**  
本機のWi-FiやBluetooth®で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同時に電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用しています。場合によってはお互いの電波が影響し合い通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。本機でもWi-FiやBluetoothを同時に使用するとその影響を受けることがあります。また、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記に注意して使用してください。

**本機の使用上の注意**  
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線機、工場製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

<b>2.4 GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は20 mです。
<b>2.45GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS 変調方式およびOFDM変調方式を採用し、干渉距離は40 mです。

**警告**
**安全のために**

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る  
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

**定期的な点検する**

- 1年に1度は次のことを点検してください。
  - ACアダプター、電源コード、ケーブル類に傷みはないか？
  - 電源コードのプラグとコンセントの間にはほこりがたまっていないか？

**故障したら使わない**

動作がおかしいときや壊れたとき、ACアダプター、電源コード、ケーブル類が傷ついたときは、インフォメーションセンターに相談してください。

**異常が起きたら**

変な音やにおいがある/さわれないほど熱い/煙が出ている

- 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
- PS Vita TVに接続しているACアダプター、ケーブル類や機器を取り外す。
- インフォメーションセンターに連絡する。

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでもってください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電/破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。	
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	

<b>図記号の説明</b>		
行為を禁止する図記号		行為を指示する図記号

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**製品全般についてのご注意**

**危険**  
火の中に入れてい、加熱しない  
火の中に入れてい、電子レンジやオープンなどの調理器具などで加熱したりしないでください。火災や破裂/けが、故障の原因となります。

**ワイヤレスコントローラー内蔵のバッテリーから液がもれたときは**  
**素手**で液をさわらない  
液がもれたときは、すぐに使用を中止し、インフォメーションセンターに相談してください。  

- 液がもれたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明の原因となります。
- 液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください

**すぐに火気から遠ざける**  
もれた液や気体に引火し、発火や破裂の原因となります。

**警告**  
専用の**ACアダプター**・電源コード以外は使わない  
付属のACアダプター・電源コードは本機だけで使用する専用品です。他の製品では使用できません。また付属の電源コード以外は本機で使用しないでください。発熱により火災・感電の原因となります。

**内部に水や異物を入れない**  
火災や感電、故障の原因となります。水や異物が入ったときは、すぐに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜き、インフォメーションセンターに相談してください。また、このときに、他の機器を接続したままにする、機器の故障の原因となります。

**分解や改造をしない**  
火災や感電、故障の原因となります。  
**ACアダプター**・電源コード、**ケーブル類**を傷つけない  
傷ついたらま使用と、火災や感電の原因となります。

- 加工しない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 物を載せない。ケーブルを引っ張らない。
- コンセントから電源コードを抜くときは、プラグを持ってまっすぐ抜く。
- 本体やACアダプターにケーブルを巻きつけない。

**油煙や感電の当たる場所、湿気や、ほこりの多い場所に置かない、使わない**  
火災や感電の原因となります。

**雷が降り出したら、電源コード、ACアダプター、ケーブル類、本体にさわらない**  
感電の原因となります。

**ぬれた手で電源コードのプラグにさわらない**  
感電の原因となります。

**長期間使わないときやお手入れをするときは、接続しているACアダプター、電源コードやケーブル類を取り外す**  
火災や感電の原因となります。

**本体やACアダプターを、布やケースなどでおおったまま使わない**  
熱がこもり、火災や故障の原因となります。

**直射日光の当たるところ、熱器具の近くなど高温の場所に置かない**  
火災や故障の原因となります。また、本体の一部が熱くなり、やけどの原因となります。

**接続するとき、繊維類にほこりや異物が付いていないか確認する**  
本体やケーブル類などの端子に、ほこりや異物が付いているときは、乾いた布や綿棒などでふいてからつなぐてください。ほこりや異物を付けたまま使用と、火災や感電の原因となります。

**ネットワーク機能を使うときは、心臓ペースメーカーの装着部から15cm以上離す**  
電波が心臓ペースメーカーの動作に影響をおよぼすことがあります。

**病院などの使用を禁止された場所や、一部の電子機器の近くでは、無線通信機能を使わない**  
電波が電子機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となります。  
\*心臓ペースメーカー、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

**警告**  
取説説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでもってください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電/破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。	
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	

<b>図記号の説明</b>		
行為を禁止する図記号		行為を指示する図記号

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**PlayStation®Vita TVで遊ぶ前に**  
必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS Vita TVを安全に使ってください。

**電源障害防止機能について**  
この装置は、クラドE8情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

**Wi-FiおよびBluetooth®機能の周波数について**  
本機のWi-FiやBluetooth®で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同時に電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用しています。場合によってはお互いの電波が影響し合い通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。本機でもWi-FiやBluetoothを同時に使用するとその影響を受けることがあります。また、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記に注意して使用してください。

**本機の使用上の注意**  
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線機、工場製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

<b>2.4 GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は20 mです。
<b>2.45GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS 変調方式およびOFDM変調方式を採用し、干渉距離は40 mです。

**警告**
**安全のために**

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る  
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

**定期的な点検する**

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**PlayStation®Vita TVで遊ぶ前に**  
必ず大人の方といっしょに、この取扱説明書をよく読んで、PS Vita TVを安全に使ってください。

**電源障害防止機能について**  
この装置は、クラドE8情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

**Wi-FiおよびBluetooth®機能の周波数について**  
本機のWi-FiやBluetooth®で使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。本機は、同時に電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用しています。場合によってはお互いの電波が影響し合い通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。本機でもWi-FiやBluetoothを同時に使用するとその影響を受けることがあります。また、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記に注意して使用してください。

**本機の使用上の注意**  
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線機、工場製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

<b>2.4 GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は20 mです。
<b>2.45GHz</b>	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS 変調方式およびOFDM変調方式を採用し、干渉距離は40 mです。

**警告**
**安全のために**

当社製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをする と、火災や感電などにより人身事故につながる可能性があります。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る  
「安全のために」の注意事項をよく読んでください。本体および周辺機器を安全に使うための注意事項が書かれています。

**定期的な点検する**

- 1年に1度は次のことを点検してください。
  - ACアダプター、電源コード、ケーブル類に傷みはないか？
  - 電源コードのプラグとコンセントの間にはほこりがたまっていないか？

**故障したら使わない**

動作がおかしいときや壊れたとき、ACアダプター、電源コード、ケーブル類が傷ついたときは、インフォメーションセンターに相談してください。

**異常が起きたら**

変な音やにおいがある/さわれないほど熱い/煙が出ている

- 電源コードのプラグをコンセントから抜く。
- PS Vita TVに接続しているACアダプター、ケーブル類や機器を取り外す。
- インフォメーションセンターに連絡する。

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでもってください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電/破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。	
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	

<b>図記号の説明</b>		
行為を禁止する図記号		行為を指示する図記号

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みください。製品を安全にお使いください。特に「安全のために」は必ずご覧ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。小さな子どもには、保護者の方がお読みのうえ、安全にお使いください。

**製品全般についてのご注意**

**危険**  
火の中に入れてい、加熱しない  
火の中に入れてい、電子レンジやオープンなどの調理器具などで加熱したりしないでください。火災や破裂/けが、故障の原因となります。

**ワイヤレスコントローラー内蔵のバッテリーから液がもれたときは**  
**素手**で液をさわらない  
液がもれたときは、すぐに使用を中止し、インフォメーションセンターに相談してください。  

- 液がもれたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明の原因となります。
- 液が身体や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください

**すぐに火気から遠ざける**  
もれた液や気体に引火し、発火や破裂の原因となります。

**警告**  
専用の**ACアダプター**・電源コード以外は使わない  
付属のACアダプター・電源コードは本機だけで使用する専用品です。他の製品では使用できません。また付属の電源コード以外は本機で使用しないでください。発熱により火災・感電の原因となります。

**内部に水や異物を入れない**  
火災や感電、故障の原因となります。水や異物が入ったときは、すぐに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜き、インフォメーションセンターに相談してください。また、このときに、他の機器を接続したままにする、機器の故障の原因となります。

**分解や改造をしない**  
火災や感電、故障の原因となります。  
**ACアダプター**・電源コード、**ケーブル類**を傷つけない  
傷ついたらま使用と、火災や感電の原因となります。

- 加工しない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 物を載せない。ケーブルを引っ張らない。
- コンセントから電源コードを抜くときは、プラグを持ってまっすぐ抜く。
- 本体やACアダプターにケーブルを巻きつけない。

**油煙や感電の当たる場所、湿気や、ほこりの多い場所に置かない、使わない**  
火災や感電の原因となります。

**雷が降り出したら、電源コード、ACアダプター、ケーブル類、本体にさわらない**  
感電の原因となります。

**ぬれた手で電源コードのプラグにさわらない**  
感電の原因となります。

**長期間使わないときやお手入れをするときは、接続しているACアダプター、電源コードやケーブル類を取り外す**  
火災や感電の原因となります。

**本体やACアダプターを、布やケースなどでおおったまま使わない**  
熱がこもり、火災や故障の原因となります。

**直射日光の当たるところ、熱器具の近くなど高温の場所に置かない**  
火災や故障の原因となります。また、本体の一部が熱くなり、やけどの原因となります。

**接続するとき、繊維類にほこりや異物が付いていないか確認する**  
本体やケーブル類などの端子に、ほこりや異物が付いているときは、乾いた布や綿棒などでふいてからつなぐてください。ほこりや異物を付けたまま使用と、火災や感電の原因となります。

**ネットワーク機能を使うときは、心臓ペースメーカーの装着部から15cm以上離す**  
電波が心臓ペースメーカーの動作に影響をおよぼすことがあります。

**病院などの使用を禁止された場所や、一部の電子機器の近くでは、無線通信機能を使わない**  
電波が電子機器に影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となります。  
\*心臓ペースメーカー、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

**警告**  
取説説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文を読んでもってください。

<b>危険</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電/破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	
<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災/感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。	
<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	

<b>図記号の説明</b>		
行為を禁止する図記号		行為を指示する図記号